



可也コミュニティセンター しまてらす

2020年10月1日発行
糸島市志摩初18番地3
TEL/FAX 092-327-1734
E-mail: kaya.k@city.itoshima.lg.jp
No.07号



消火器の手順覚えていませんか?!

8月28日(金)コミュニティセンターで、当日、サークル活動中の皆様のご協力のもと消火器訓練、避難訓練をしました!! 訓練で何度聞いてもよく覚えきれなかった消火器の手順が、覚えられる「魔法の合言葉」!! 『ピ・ノ・キ・オ』

- ピ・ピンを抜く
- ノ・ノズルを火に向ける
- キ・距離をとる
- オ・押す

で実際に消火器を操作し、これでスッキリ・ハッキリ!! もう大丈夫! 消火器の使い方を覚えるとき、誰かに教えるときは是非「ピノキオ」を試してみてください!



消火器の噴射時間は 14秒!! 慌てずに初期消火ができるように『ピノキオ』で消火器の操作をしっかりと覚えておきましょう



可也コミュニティ
センターQRコード



マスク着用・消毒



◆コミュニティセンターよりお知らせ◆

たて続けに福岡県を襲った台風9号、10号は糸島市にも大きな被害をもたらしました!! この先も台風がいつ襲ってくるかもしれません。日頃の備えをし、台風情報には十分注意しましょう。

防災行政無線放送内容確認ダイヤル

0120-315-470



☆防災メール
まもるくん

コミュニティセンターが避難所となった場合・・・

- ① マスクの着用
- ② 食料・飲料水・着替え・持薬・体温計・敷物(床に敷く為ヨガマットなどのクッション性のあるものが良い)の持参
- ③ ペットはゲージやキャリーバックに入れて(避難所の雨の入らない屋外で避難)



☆行事予定は変更になる場合があります

≪10月の主な行事≫

- 3日(土) 10:00 かやっこアンビシャス(スプレー)
 6日(火) 10:00 運動講座⑥
 6日(火) 18:30 市長懇談会・区長会
 9日(金) 10:00 ダーツkaya
 10日(土) 9:30 かやっこアンビシャス(可也山登山)
 14日(水) 10:00 かしまし学級(ハンドケア講座)
 20日(火) 10:00 運動講座⑦
 24日(土) 9:30 しま歴史探検隊
 29日(木) 10:00 楽々ウォーキング①
 31日(土) 14:00 かやっこアンビシャス
 (九大F.E.E.L.)

※10月に予定していました“おとなの歴史旅”は講師の都合により延期致します。

灯台下暗し No.6

住まい考房 藤永 典弘さん
 スマイリースター 藤永 純子さん



お客様に寄り添い20年！良いものを追求し続ける

志摩井田原の藤永さんご夫妻

100余年前は造り酒屋だった古民家を、糸島の地で愛される音楽施設として生まれ変わらせ、地元出身の演奏家や世界各国のミュージシャンを招いて、様々なライブコンサートを開催している井田原のけやきの杜。そのけやきの杜のイベントの企画・開催はもちろんのこと、和モダンなけやきの杜のリノベーションを担当されたのが、今回ご紹介する「住まい考房」代表、一級建築士の藤永典弘さん、そして、奥様で160年以上の古民家を改装して「ギャラリースマイリースター」を開いていらっしゃる藤永純子さんです。

今から約20年前、奥様の「空気の良い田舎で住みたい」という希望を叶えるため、福岡市内から移住して来られたとのこと。ご主人の典弘さんは、持続可能な自然との調和を考えた住まいづくりで、地域はもとより、井田原のけやきの杜、吉田の橋 café、岐志のトラットリアジロ等々、古民家の再生から新築住宅、お店作りなどたくさんの建築を手掛けられ幅広くご活躍中です。

また、趣味の手作りが高じて始められたという奥様のギャラリーは、「開店当初からのお客様のニーズに合わせた商品をセレクトし並べています」という言葉通り、小物から、バック、お人形に至るまで厳選された商品が並んでいます。古民家のギャラリー内は、まるでここだけ時間がゆっくり進んでいるかのようで、日頃の慌ただしさを忘れさせてくれる空間でした。

奥様より、「主人が手掛けた吉田の橋 café（営業日：日曜日のみ）も素敵なお店ですよ」と紹介されたので、次回はそこへも足をのばしてみたいなと思いました。（塩田）



ギャラリーの外観



火山でテレビ出演！！

一行は、その日の目的地火山の展望所へと向かっていました。

パラグライダーが飛び立つそこには何やら人影が... カメラを担いでいる人、マイクを持った人等々。

ん？子ども達の一人が「テレビで見たことがある人がいる！」というや否や、「佐藤栄作さんだ！」そう、この日はKBCテレビ『水と緑のキャンペーン』特番で生中継のロケ地になっていました。こういう機会もなかなかないだろうと下山を遅らせ生中継の時間までいました。シャイなかやっこたちは、「栄作さん、頑張ってください！」の掛け声も控えめに初テレビ生中継を終えました。（佐田）

